

## みんなで人権について 考えてみませんか 「わたしも大切 あなたも大切」

12月4日(月)には、人権教室が開かれました。人権擁護委員の上原登さんを講師に、1・2年と3～6年に分けて学習しました。



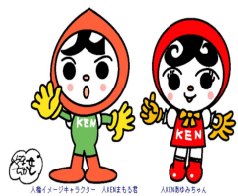
下学年では、「助け合い」や「『よさ』を認め合うこと」を学びました。また、上学年では、「いじめ」「思いやり」というテーマで学びました。子どもたちなりに、考えを深めることのできた時間となりました。

さて、先日の研修会で、以下のような話がありました。

志布志市内の中学生の言葉だそうです。  
冷やかし・からかい・陰口・嫌味・圧のかかった言い方って大人同士もしているし、大人が子供にしているよ。  
なんで、大人は注意されないの？

なかなか核心を突く中学生の言葉です。ドキッとしました。「大人は子どもの鏡」とよく言われますが、皆様のまわりではいかがですか。「言われたら(されたら)嫌なことは人にも言わない(しない)」ごく当たり前のことですが、これが難しいものです。

より人権感覚を高め、思いやりのある子どもたちに育てるためにも、大人がお手本を見せ、もう一度大人も、子どもも、みんなで人権について考えてみませんか。



## 全力を尽くしました 持久走大会

12月7日(木)に、校内持久走大会が開催されました。

1・2年生が800m、3・4年生が1000m、5・6年生が1500mを走りました。今年度は、県下一周駅伝曾於チーム選手の橋口貴之さん(泰野小卒業生)、佐野広幸さん、中脇健太さん、増田悠大さんが伴走者として一緒に走っていただきました。そのおかげもあって、子どもたちもそれぞれが全力を尽くし、全員が完走しました。今年度は新記録も更新され、子どもたちの頑張りが輝きました。

子どもたちに温かい声援を送ってくださった地域や保護者の皆様、応援本当にありがとうございました。



## 餅つき体験



12月9日(土)に、泰野校区コミュニティ協議会ふるさとづくり部や女性部の御協力のもと、5・6年生が、杵と臼を使った餅つき体験を行いました。使用した餅米は、これまでの稲作体験で育てたものです。田植えから餅つき体験まで、地域の方には大変お世話になりました。おかげさまで、今年度も充実した稲作体験活動となりました。

## 地域ジュニア体験教室

12月9日(土)に、鹿児島県社会福祉協議会の方にお越しいただき、3・4年生が「地域ジュニア体験教室」に参加しました。障がいがある人もない人も安心して生活できる「ユニバーサルデザイン(UD)」の考え方についてや、生活をサポートするための「自助具」について体験を交えて学習を深めました。

早速、翌日には「心のユニバーサルデザインを広げよう」と一日のめあてを設定した学年もありました。学んだことを生活に生かそうとする様子が見られました。

## アンケートへの御協力ありがとうございました 「志の心」をさらに高める

道徳教育の充実をめざして、児童と保護者の皆様に「志の心」アンケートを行いました。昨年度は5割程度の回答に終わってしまいましたが、今年度は87.5%の回答をいただきました。(全48名中42名の保護者回答)御協力ありがとうございました。

本校児童の結果は、昨年度の課題であった道徳科への学習の関心がだいぶ向上していました。また、特に「郷土愛(自分が育った地域の行事や自然を大切にしているか。)」の結果が昨年度より向上していました。

一方、「道徳科の学習について家で話題にしているか。」の問いが低いことが課題です。学校からも週報などで道徳の授業のことなどをお伝えしていきます。ぜひ御家庭でも道徳の学習について話題にしてみてください。